



邑楽町立邑楽南中学校 学校だより

# おうなん

令和2年7月15日(水)

発行 邑楽南中学校

第7号

mail:oramijh@muse.ocn.ne.jp



## 今年度の学校評価は 1回実施となります



例年、学校評価を年2回実施し、第1回を7月にお願いしていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡散防止のため、臨時休業や分散登校等で通常の教育活動が実施できない状況であったため、年1回の実施となります。そこで、7月は実施せず、1月頃のみ実施する予定です。

本校の学校教育目標を達成させるためには、学校だけでなく家庭や地域の協力が欠かせません。そこで、7月には学校評価は実施しませんが、学校評価項目(質問内容)を確認していただき、学校・家庭・地域が三位一体となって、学校教育目標の達成を目指していきたいと思っておりますので、これからもご協力をお願いいたします。

学校教育目標 心豊かで、自ら学ぶ たくましく生きる生徒の育成  
目指す生徒像

- 一 自立した生徒 自ら学び 自ら考え ねばり強くやり抜く生徒
- 二 共生できる生徒 自他を尊び 規律を守り 社会に貢献しようとする生徒
- 三 感動できる生徒 物事に本気で取り組み 仲間と喜びを分かち合い 素直に感動できる生徒

評価対象	保護者の方への質問
保護者・地域との連携	①学校はお子さんの様子がわかるように、情報を発信していますか。 ②学校はお子さんのことで、細かく連携をとっていますか。 ③授業参観や学級懇談会など学校・PTAの諸活動に積極的に参加していますか。
学習指導・生徒指導・健康観察について	④お子さんは、学校の授業で教科等の基礎・基本が身についていると思いますか。 ⑤お子さんは、学校の授業に、ほぼ満足している。 ⑥お子さんは、1日1時間以上の家庭学習をしていますか。(塾のない日の平均) ⑦お子さんは、進んで読書に親しんでいますか。 ⑧学校は、お子さんの悩みやいじめの解消に努力していると思いますか。 ⑨お子さんは、「学校は楽しいところ」と感じていますか。 ⑩お子さんは、進んであいさつをしていますか。 ⑪お子さんは、ご家庭で何らかのお手伝いをしていますか。 ⑫お子さんは、毎日朝食をとっていますか。 ⑬お子さんは、毎日7～8時間の睡眠をとっていますか。 ⑭お子さんは、運動や文化活動に積極的に取り組んでいますか。
安全教育関係	⑮学校は交通ルール(自転車の乗り方など)について指導をし、安全対策に努めている。 ⑯学校は登下校指導や防犯パトロール等を実施し、不審者対策などの安全に留意している。 ⑰学校は地震や火災発生時の避難方法について、具体的に指導している。
進路・キャリア教育	⑱お子さんは、将来の夢や希望など、自分の生き方について考えていると思いますか。 ⑲お子さんと、将来の夢や希望、進路について家族で話し合っていますか。



※ただし、新型コロナウイルス感染症拡散防止のため、予定していた学校行事等が今後も実施できず、項目を削除したり変更したりする場合がありますので、ご了解ください。

## 3年生の進路説明会を開催しました

7月10日（金）に、3年生の生徒と保護者を対象に、進路説明会を体育館で開催しました。新型コロナウイルス対策で参加者の間隔を広めにとったため、例年とは少し違う雰囲気でしたが、間近に迫った進路のことなので、大変真剣な眼差しで説明を聞いていました。

今年度は、高校の体験入学等も新型コロナウイルス対策により、群馬県内の公立高校は全て中止となり、オンライン学校説明会が公立私立を問わず一気に増えました。8月3日（月）～7日（金）までの5日間は、三者面談でお世話になります。実際の高校を見学できないのは誠に残念ですが、オンライン学校説明会が7月中には配信開始になりますので、面談日までに配信動画を見ながら親子で十分に話し合っただけいたらありがたいです。中には1,2年生でも見られる高校もありますので、将来に向けて、近隣にどんな高校等があるか親子で知る機会をもつことをおすすめします。



## 思春期の子ども理解(2)

幼い頃「ママ、大好き!」「将来はパパと結婚する!」と言っていた我が子が最近「うざい」と言い出して、ショックを受けている保護者の方はいらっしゃいませんか。娘が思春期を迎えると、急に父親に嫌悪感をもったり「嫌い」と言ったりするのはよく聞く話です。

このような言動は、むしろ健全な成長の証拠で喜ぶべきだという生物学者がいます。その理由の一つとして、大人の体に成長して子を産む肉体的条件が整うと、その本能にスイッチが入り、遺伝子の近い男性（父親）を遠ざけ、遺伝的に遠い男性を求めるのだそうです。

遺伝子が近いと、体の弱いところが似て、同じ病気を発症したりより症状が強くなったりすることがあるため、遺伝子の近い親と距離を置くこととするのは、本人の意思ではなく本能だということ、しばらくの間は我慢していただきたいと思います。

なお、家族で悪口を言い合っていると、嫌悪感がより強まるという説もあります。思春期の子育て時期は、互いのよさを褒め、感謝し合う温かい家庭を意識するとよいそうです。

私（教頭）のように、子育てが終わってからこのことを知って後悔しないように、この場を借りて書かせていただきました。



## 大雨・雷への対策

梅雨の後半では大雨が続く傾向にあるようですが、九州地方や飛騨地方をおそった豪雨による河川の氾濫で多くの方が犠牲になった報道を見ると、本当に心が痛みます。

最近、線状降水帯ができて同じ場所に雨が降り続け、「〇年に一度」の大災害発生が頻繁になっています。今年の台風19号もそうでした。災害が起こったときは、他人事と考えず、常に危機意識をもっていたいと心を引き締める思いです。

本校でも、大雨や雷の予報が出た場合は、管理職が雨雲レーダーを確認し、早めに対応していきたいと考えております。部活動の最中に雷雲の接近が予想される場合は、早めに部活動を中止し、生徒を帰宅させるようにします。また、予報よりも早く雷鳴や雨の降り出しが確認された場合は、学校で生徒を待機させることもあることをご了承ください。

天気や気候などの自然については、人間の力が及ばないこともあります。何よりも生徒の安心安全を第一に考えて努めていきますのでご協力お願いいたします。



